

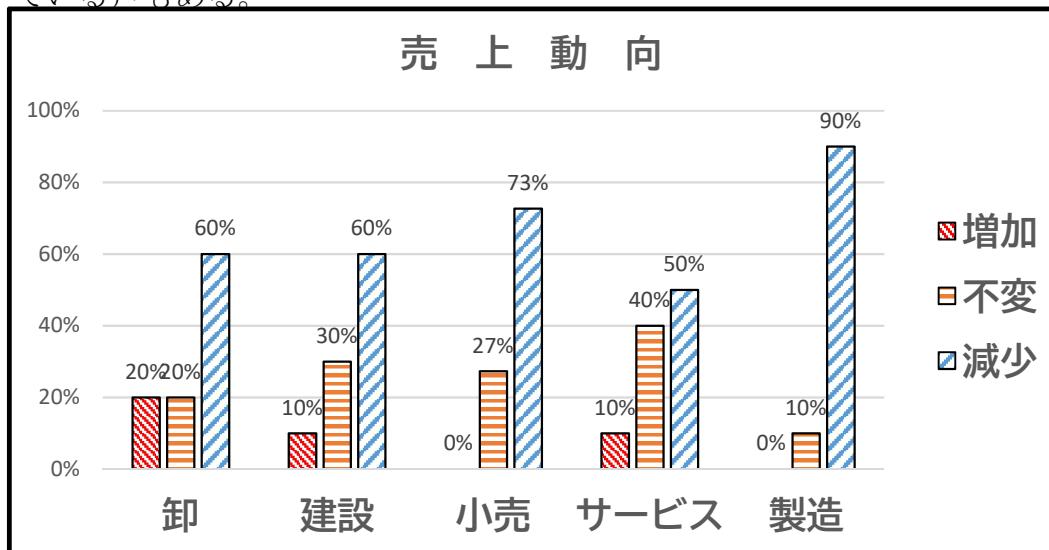
余市商工会議所 企業景況調査（2020上半期）

【調査内容】今年に入りどのように推移しているのか①売上動向、②販売価格、③仕入価格、④客数、⑤客単価、⑥利益動向、⑦雇用状況、⑧景況感、⑨見通し（10～3月）について調査を実施した。

（調査対象は卸・建設・小売・サービス・製造の5業種で各10社）2020.9調査

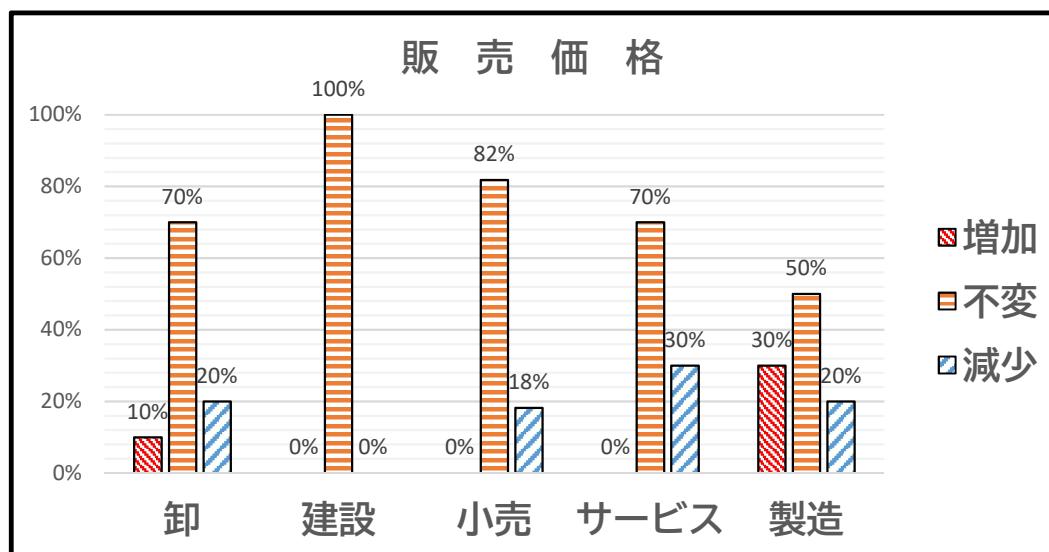
①売上動向について

売上動向については、卸、建設、サービス業の一部に増加が見られるものの、全業種とも減少していると回答。売上減少により在庫過多や原料不足など様々な問題があげられた。10月から実施されるプレミアム商品券に期待している声もある。



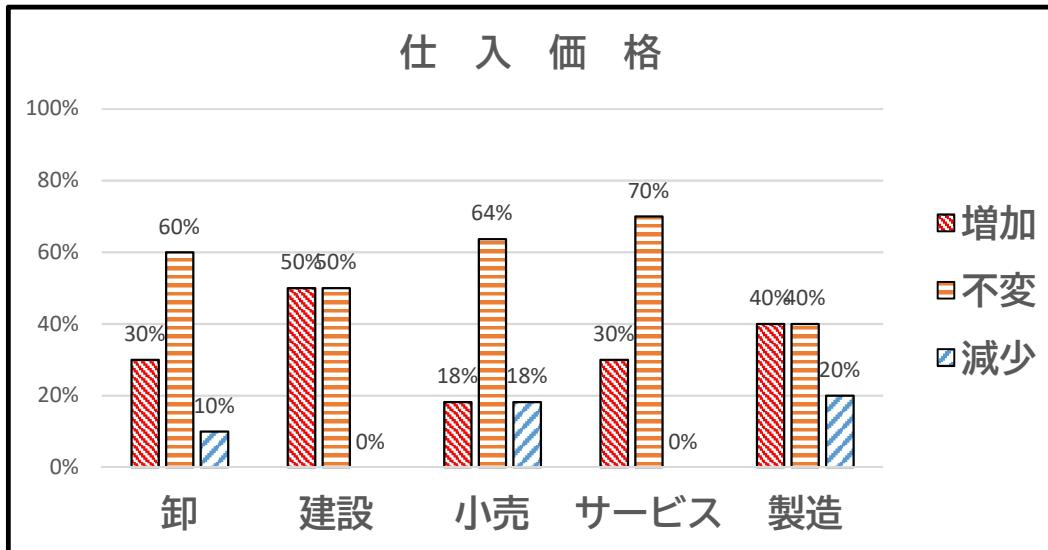
②販売価格について

販売価格については、仕入価格の変動により増加している業種もあったが、全業種で不变の回答が最も多かった。



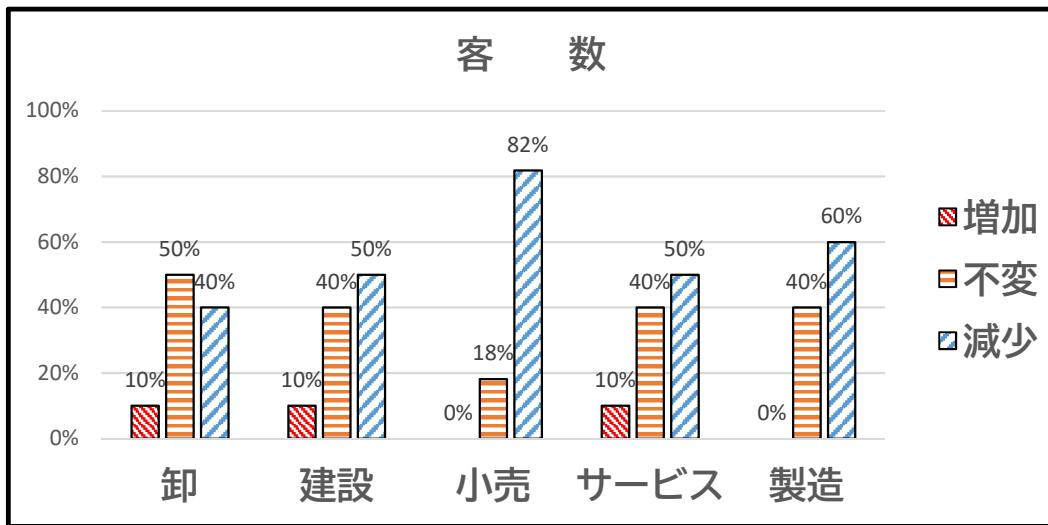
③仕入価格について

仕入価格については、昨年の増税もあり増加している業種も多いが、仕入価格は不变であると回答した業種が約半数であった。仕入価格の減少については、売上減少に伴う仕入減少が影響している。



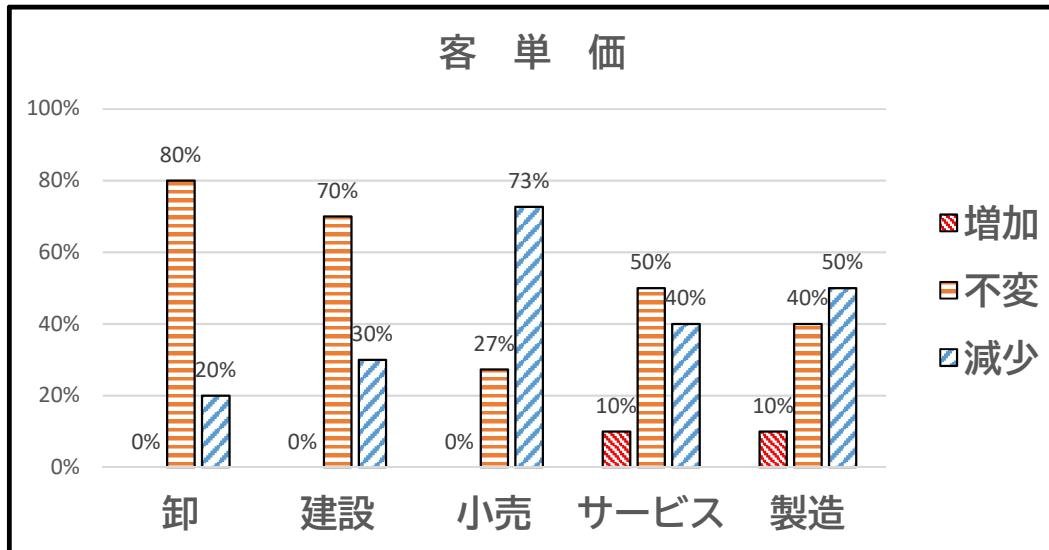
④客数について

客数については、全体的に減少が多く、次いで不变であるとの回答であった。客数の減少については、小売業（飲食含む）がもっとも影響を受けている。



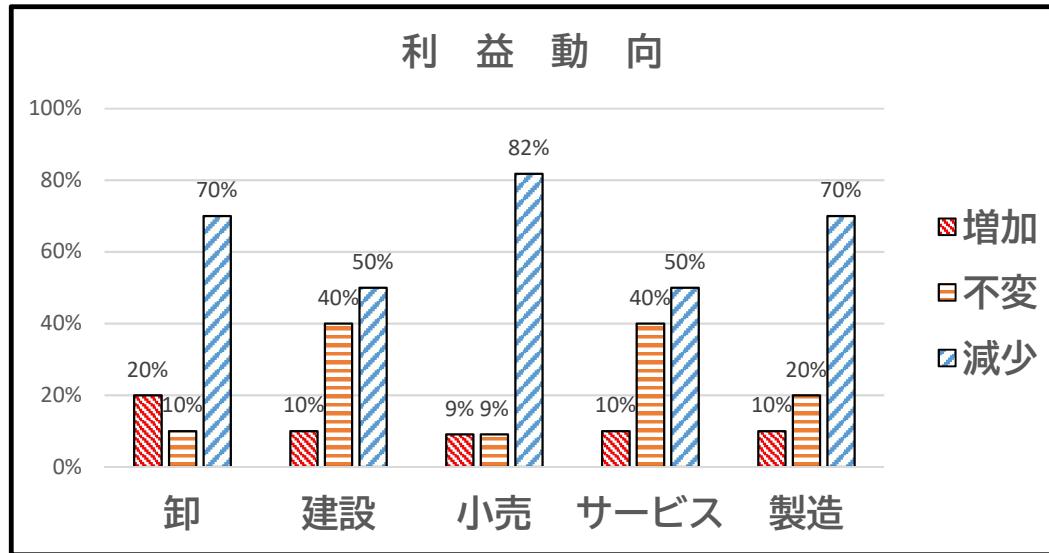
④客単価について

客単価については、小売業を除く業種で不变。小売業では減少という回答であった。ここでも小売業（飲食含む）での影響が大きい。



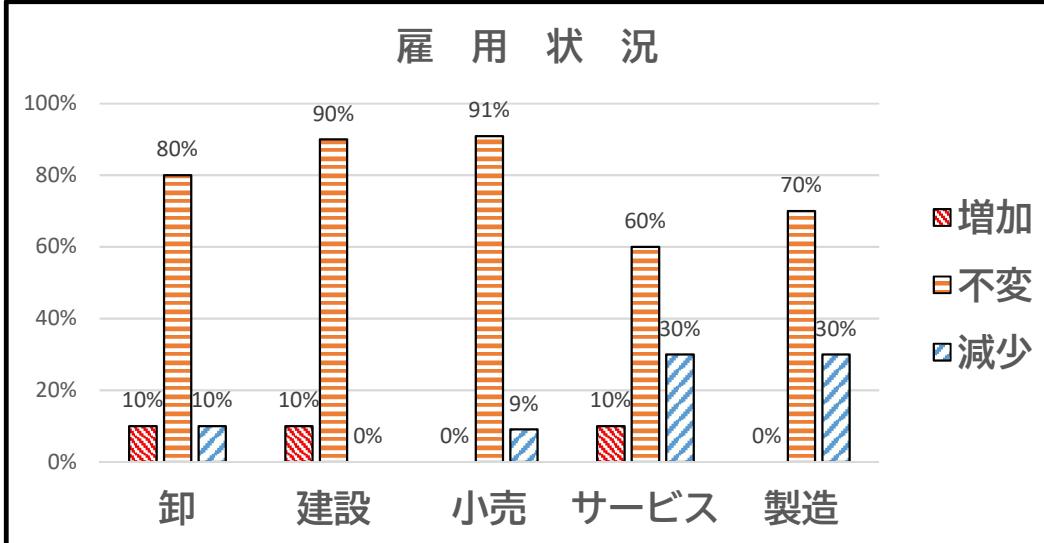
⑤利益動向について

利益動向については、全業種で一部増加が見られるものの、全業種の50%以上が減少と回答している。仕入・原料価格の増加、販売価格の据置、小ロットでの注文増加などもあり利益も減少している。



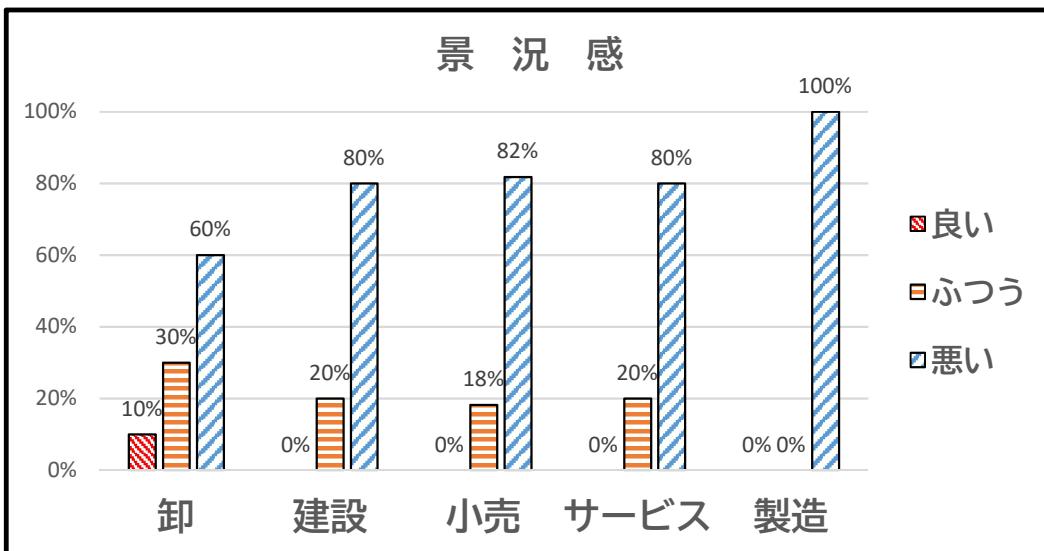
⑥雇用状況について

雇用状況については、全業種とも不変で、雇用は維持されているところが多かったが製造、サービス業に関しては減少と回答した事業所が30%あり、新型コロナウイルスの影響により雇用維持が困難になっているところもある。また、一部業種では人手不足も問題としてあげられている。



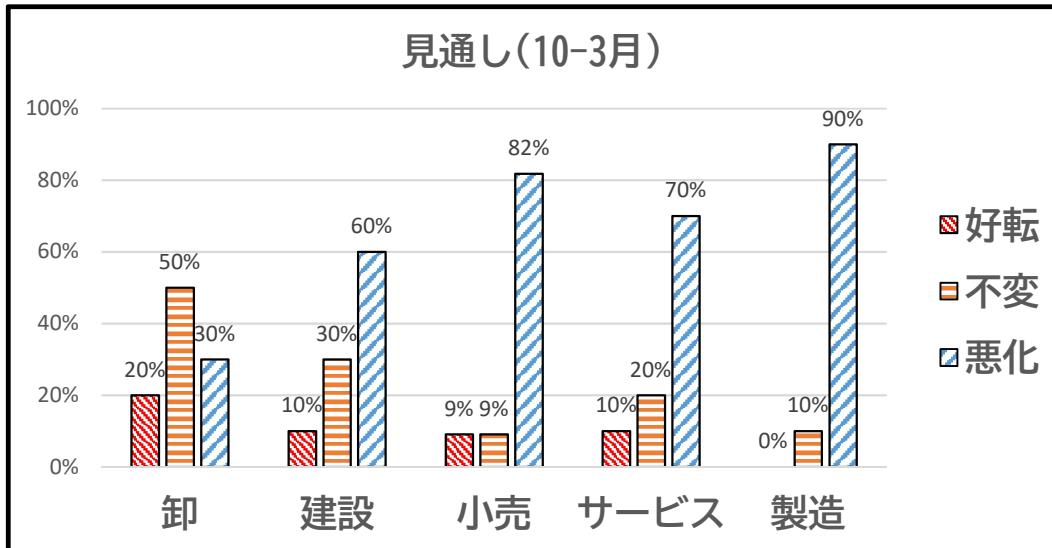
⑦景況感について

景況感については、全業種とも悪いが最も多い。一部観光等では少しずつ回復の兆はあるものの、全体的に昨年と比べるとまだまだ景況は悪い状況にある。



⑧見通し(10-3月)について

見通しについては、卸売業は不変、その他の業種は悪化するとみており、10月以降の景況についても先行き不透明感が顕著に表れている。※卸売業については、取扱品により回答にばらつきが見られる。



経営動向調査にご協力頂きありがとうございました。

当会議所としても、新型コロナウイルスで影響を受けている事業所の皆様のお力になればと第2弾として、チラシ作成補助事業やクーポン券事業も実施致しました。

引き続き、各種セミナー・講習会の開催、情報提供等行ってまいりますので、ぜひご活用ください。